

平成22年度 現代文シラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	現代文	単位数	4	履修学年・区分	3学年4単位
使用する教科書	大修館書店 新編現代文				
副教材等	プレゼミ実用国語				

2 学習目標

<p>基礎的な語彙, 漢字, 表現技巧を学び自由に活用できる力を養う。 さまざまなジャンルの文章に触れ, 読み味わうことで語彙力, 読解力を身につける。また読書をする喜びを体験し, 視野や思考の幅をひろげ, 自らの考えを深める。 自分の考えと意見を表現できる語彙と表現力を身に付け自己アピール, コミュニケーション能力を高める。</p>
--

3 学習方法

<p>①教科書を繰り返し音読する。 ②プリントを用いて漢字の練習を行う。 ③ワークシートを利用し読解を深める。 ④作者の他の作品を読み味わい読書の幅を広げる ⑤副教材を利用して, 一般常識や表現力を養成する</p>

4 学習計画

学期	月	学習内容 (単元名)	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	4	夢を建てる 「夢を建てる人々」 プレゼミ第1・2回	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習計画を理解する。 随筆の読み方の習得。自己を見つめ確立していく力の養成。 副教材の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく内容が理解できたか。 漢字練習プリント, ワークシート及びノートの提出。 辞書等を用いて, 正しく表現できたか。 副教材の提出。
	5	広がる読書 「オイッ, 人間失格」 プレゼミ第3・4・5回	<ul style="list-style-type: none"> 作者の読書体験を味わうとともに, 太宰治の作品について興味を持ち, 自分の読書の世界を広める。 副教材の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく内容が理解できたか。 漢字・語彙が理解, 習得できたか。 辞書等を用いて, 正しく表現できたか。副教材の提出。
	6 7	人の心に触れる 「パラグアイのオムライス」 プレゼミ第6・7・8・9回	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説のおもしろさを味わい, その鑑賞の仕方を学ぶ。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 副教材の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく内容が理解できたか。 漢字練習プリント, ワークシート及びノートの提出。 辞書等を用いて, 正しく表現できたか。 副教材の提出。
	9	遊び。ユーモア。ゆとり 「ももこのいきもの凶鑑」 プレゼミ第10・11・12・13回	<ul style="list-style-type: none"> ユーモアを含んだ軽い文章を楽しみ読むことで読書の楽しみを味わう。 副教材の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく内容が理解できたか。 漢字練習プリント, ワークシート及びノート提出。 辞書等を用いて, 正しく表現できたか。 副教材の提出。

2 学 期	10	環境と共生 「ゴリラの思いやり」 プレゼミ第14・15・16・17回	<ul style="list-style-type: none"> ・自然との共生について書かれた文章を理解し、環境、人間の在り方を考える契機とする。 ・副教材の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を正しく理解すると同時に環境問題にも関心を持つことができたか。 ・漢字練習プリントノートの提出。 ・辞書等を用いて、正しく表現できたか。
	11	名作のひびき 小諸なる古城のほitori 他七編 プレゼミ第18・19・20・21回	<ul style="list-style-type: none"> ・名作に触れ、日本文学に興味を持つ。 ・副教材の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み味わいことができたか。 ・ノート提出。 ・副教材の提出。
	12	若い人たちへ 「心の単純化に陥らないために」	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を構成を理解し語彙、表現に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成、内容の理解がなされたか。 ・ノート提出
		物語の世界へ 「鉄道員」 プレゼミ第22・23・24・25回	<ul style="list-style-type: none"> ・短編小説を読み味わい、その鑑賞の仕方を学ぶ。 ・副教材の問題演習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を正しく理解すると同時に文章の持つ情緒を味わえたか。 ・ノート提出。 ・副教材の提出
第 3 学 期	1	現代を考える 「カラダに今何が起きて いるか」	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章構成を理解し、語彙、表現に慣れる。また現代の文化について興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成、内容の理解がなされたか。また語彙を理解することができたか。 ・ノート提出。
	2			
	3			

5 学習評価

(1) 評価の観点及び内容について

以下に示す三つの観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

なお、学習計画に示された「評価のポイント」は三つの観点と結び付いた具体的な評価基準と考えます。

評 価 の 観 点 及 び 内 容	
1 授業・教材に対する「関心・意欲・態度」	教科書・ノートをきちんと用意し、ワークシート、漢字練習等のプリントを提出したか。
2 読解力・表現力	内容を理解し、それを文章によって表現できたか。
3 漢字力・語彙力	漢字テストで合格できたか。

(2) 「評価の観点」の評価方法について

学習状況の観察・提出物・ノート・定期考査によって評価します。